

科目名 (科目番号)	栄養教育論実習II (時間割参照)	教員名 伊部 陽子	学科等	保健栄養	必修	履修年次	3
			曜日・時限等	時間割表参照	単位数	1	
			授業形態	実験・実習	オフィスアワー	D307研究室	
授業概要	各ライフステージ(妊娠期・授乳期・幼児期・学童期・思春期・青年期・成人期・高齢期)の特徴に応じて、行動科学の理論とモデル、行動変容技法、栄養カウンセリング、栄養マネジメントの理論とモデルを適切に活用し、多様な場での栄養教育プログラムの作成と実施方法を、シミュレーションを通じて習得する。						
目的・目標	目的:各ライフステージの特徴や特有の課題を踏まえ、新たな栄養教育プログラムを作成・実施し、実践力を身につける。 目標:各ライフステージの特徴や栄養・健康課題に応じたアセスメントの内容、教材の選定方法、学習形態の選択方法を理解する。行動科学の理論とモデル、行動変容技法、栄養教育マネジメントの理論とモデルを基に、保育園・こども園・幼稚園、小・中・高等学校、大学、地域・職域、高齢者福祉施設・在宅介護など多様な場における栄養教育プログラムの作成と実践方法を習得する。						
準備学習	毎回の授業の到達目標と学習内容を十分に理解しておくこと。						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	理論や技法を応用したライフステージ別の栄養教育の展開 (1)	到達目標:栄養教育プログラムの作成の流れを理解する。 学習内容:栄養教育プログラムの作成と実施を学習する。				
	2	理論や技法を応用したライフステージ別の栄養教育の展開 (2)	到達目標: 青年期の栄養教育プログラムを構築方法を習得する。 学習内容: 大学における栄養教育プログラムの作成を行う。				
	3	理論や技法を応用したライフステージ別の栄養教育の展開 (3)	到達目標: 青年期の栄養教育プログラムを構築し、その実践方法を習得する。 学習内容: 大学における栄養教育プログラムの作成と実施を行う。				
	4	理論や技法を応用したライフステージ別の栄養教育の展開 (4)	到達目標: 高齢期の栄養教育プログラムを構築方法を習得する。 学習内容: 高齢者福祉施設や在宅介護の場における栄養教育プログラムの作成を行う。				
	5	理論や技法を応用したライフステージ別の栄養教育の展開 (5)	到達目標: 高齢期の栄養教育プログラムを構築し、その実践方法を習得する。 学習内容: 高齢者福祉施設や在宅介護の場における栄養教育プログラムの作成と実施を行う。				
	6	理論や技法を応用したライフステージ別の栄養教育の展開 (6)	到達目標: 学童期の栄養教育プログラムを構築方法を習得する。 学習内容: 小学校における栄養教育プログラムの作成を行う。				
	7	理論や技法を応用したライフステージ別の栄養教育の展開 (7)	到達目標: 学童期の栄養教育プログラムを構築し、その実践方法を習得する。 学習内容: 小学校における栄養教育プログラムの作成と実施を行う。				
	8	理論や技法を応用したライフステージ別の栄養教育の展開 (8)	到達目標: 思春期の栄養教育プログラムを構築方法を習得する。 学習内容: 中・高等学校における栄養教育プログラムの作成を行う。				
	9	理論や技法を応用したライフステージ別の栄養教育の展開 (9)	到達目標: 思春期の栄養教育プログラムを構築し、その実践方法を習得する。 学習内容: 中・高等学校における栄養教育プログラムの作成と実施を行う。				
	10	理論や技法を応用したライフステージ別の栄養教育の展開 (10)	到達目標: 成人期の栄養教育プログラムを構築方法を習得する。 学習内容: 職域における栄養教育プログラムの作成を行う。				
	11	理論や技法を応用したライフステージ別の栄養教育の展開 (11)	到達目標: 成人期の栄養教育プログラムを構築し、その実践方法を習得する。 学習内容: 職域における栄養教育プログラムの作成と実施を行う。				
	12	理論や技法を応用したライフステージ別の栄養教育の展開 (12)	到達目標: 妊娠期・授乳期の栄養教育プログラムを構築方法を習得する。 学習内容: 地域における栄養教育プログラムの作成を行う。				
	13	理論や技法を応用したライフステージ別の栄養教育の展開 (13)	到達目標: 妊娠期・授乳期の栄養教育プログラムを構築し、その実践方法を習得する。 学習内容: 地域における栄養教育プログラムの作成と実施を行う。				
	14	理論や技法を応用したライフステージ別の栄養教育の展開 (14)	到達目標: 各ライフステージの栄養教育プログラムを構築方法を習得する。 学習内容: 各ライフステージの栄養教育プログラム作成を行う。				
15	理論や技法を応用したライフステージ別の栄養教育の展開 (15)	到達目標: 各ライフステージの栄養教育プログラムを構築し、その実践方法を習得する。 学習内容: 各ライフステージの栄養教育プログラム作成と実施を行う。					
成績評価の方法・基準	課題と発表 (50%)、期末試験 (50%) を総合して評価する (対面・オンライン共通)。						
教科書	改訂 実践に役立つ栄養指導事例集		著者:編著:井川聡子・斎藤トシ子・廣田直子		理工図書株式会社		
参考図書	学生・管理栄養士のための栄養教育論 (栄養教育論 I の教科書) 授業時間内に適宜指示する						
教員からのメッセージ	昨年度の授業評価アンケート結果に基づく改善を施します。課題はコメント等を付して授業内で返却します。オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知いたします。受講生の理解度に応じて、学習内容の配分、順番を変更することがあります。変更する場合は、授業内または掲示でお知らせします。						